

会 議 録

会議の名称	茨木市建設事業評価委員会
開催日時	令和2年2月5日(水) 午後5時00分 開会 ・ 午後6時30分 閉会
開催場所	市役所南館3階 防災会議室
議長	【委員長】澤木 昌典(大阪大学大学院教授)
出席者	<p>【委員】(50音順)</p> <p>木村 正文(茨木商工会議所専務理事)</p> <p>高村 学人(立命館大学教授)</p> <p>中谷 祐介(大阪大学大学院助教)</p> <p>延原 理恵(京都教育大学准教授)</p> <p>【市】</p> <p>井上 茂治(副市長)</p> <p>岸田 茂樹(都市整備部長)</p> <p>福田 文彦(都市整備部副理事兼市街地新生課長)</p> <p>荒木 和司(市街地新生課 課長代理)</p> <p>参河 祥道(市街地新生課グループ長)</p> <p>三浦 健 (市街地新生課主査)</p> <p>下野 哲 (市街地新生課職員)</p> <p>竹内 政樹(市街地新生課職員)</p>
欠席者	なし
事務局職員	建設部建設管理課長、同課 課長代理、同課 総務係長、係員2名
開催形態	公開(傍聴者0人)
議題(案件)	<p>(1) 社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略(2期)」の事後評価について</p> <p>(2) 社会資本総合整備計画「阪急茨木市駅及びJR茨木駅周辺におけるまちづくり」の事後評価について</p>
配布資料	<p>【資料1】事業評価説明資料「茨木市総合交通戦略(2期)」</p> <p>【資料2】整備計画「茨木市総合交通戦略(2期)」</p> <p>【資料3】事後評価書(案)「茨木市総合交通戦略(2期)」</p> <p>【資料4】事業評価説明資料「阪急茨木市駅及びJR茨木駅周辺におけるまちづくり」</p> <p>【資料5】整備計画「阪急茨木市駅及びJR茨木駅周辺におけるまちづくり」</p> <p>【資料6】事後評価書(案)「阪急茨木市駅及びJR茨木駅周辺におけるまちづくり」</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
岸田部長	【あいさつ】
西野課長	【当委員会委員、出席者の紹介】
各委員	【委員会規則第5条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、澤木委員を委員長に選出】
澤木委員長	【あいさつ】
澤木委員長	職務代理に中谷委員を指名する。本日の委員の出席状況の報告を、事務局に報告を求める。
西野課長	会議については、委員会規則第6第2項により委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないが、本日は5名中5名の委員が出席されているので、会議は成立している。
澤木委員長	会議の公開について、事務局に説明を求める。
西野課長	【会議の公開について説明】 (1) 会議開催にあたっては、個人に関する情報を審議する場合を除き、公開が原則である。 (2) 会議資料は、傍聴人に閲覧させ、配布することができる。
澤木委員長	事務局からの説明について、各委員に意見を求める。
各委員	異議なし。
澤木委員長	委員会として会議を公開すると決定したので、傍聴者の入室を許可する。
	【傍聴者入室は無し】
澤木委員長	会議録及び会議資料の公開について、事務局に説明を求める。
西野課長	【会議録及び会議資料の公開について説明】 (1) 会議録は、発言内容等を要約したものを公開する。 (2) 発言者については、名前を表記する。 会議録の公表に当たっては、各委員に事前内容を確認してもらう。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
澤木委員長	事務局からの説明について、各委員に意見を求める。
各委員	異議なし。
澤木委員長	本日の会議について、事業担当課に説明を求める。
下野職員	【配布資料の確認】 【社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略（２期）」の事後評価について説明】
澤木委員長	事業担当課からの説明について、各委員に意見を求める。主な審議項目は、「事業効果の発現状況」、「目標値の達成状況」、「今後の方針」等である。
中谷委員	指標２の目標値に対して、平成３０年度末の実績値が未達成だが、今後、目標値を達成する見込みがあるとの説明があった。どのような要因で目標値が達成される見込みか、また根拠となる数値を教えてください。
参河グループ長	達成の見込みについて、庄一丁目地区の３工区において板状マンション建設が計画されており、戸数については約２５０戸を予定している。また、東芝工場跡地において、約４７０戸の新たなマンション建設計画が予定されている。周辺の住宅開発が進むことにより、今後、駅の乗降客数も増加していく見込みであると考えている。
澤木委員長	庄一丁目地区の３工区と東芝工場跡地の建設予定戸数は合わせて約７００戸だが、目標値は達成されるのか。
参河グループ長	追手門学院より、総持寺キャンパスの学生数が増加する見込みがあると聞いており、そのような要因もあると考えている。
澤木委員長	庄一丁目地区における板状マンションの建設予定戸数である約２５０戸が指標１「庄一丁目地区地区計画区域内の住宅戸数」にも関係しているか。
参河グループ長	そうである。指標１の現況値に当初の板状マンション建設予定戸数２１４戸を足し目標値として設定している。
木村委員	指標１の目標値が達成できる予定であることはわかった。庄一丁目地区地区計画区域内の民間開発業者の土地利用が遅れていることが原因と記載し

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
参河グループ長	<p>ているが、どれぐらい遅れているのか、現在の状況を教えてほしい。</p> <p>状況としては、高層マンション計画も検討されていたが、現在は板状マンション計画で進められている。事業者から聞いている竣工予定は2023年2月として、準備を進めているとのこと。</p>
澤木委員長	<p>指標1については、今後達成見込みの確実性はあるが、目標値には達成していない。しかし、地区計画区域内の居住人口は増加しており、すでに販売されているマンションへの入居が続いている状況から、一定の居住環境の良さが評価されている。そういうところから、事後評価書にあるとおり都市基盤整備により居住環境の向上が図られていると考えられる。</p> <p>指標2についても、今後、住宅開発が駅前と東芝工場跡地で進むことや、追手門学院の通学者数も増える予定で、目標値は達成される見込みである。また、追手門学院の開校により乗降客数も増加傾向であることから、JR総持寺駅の整備は一定の効果があった。</p> <p>指標3については、アンケート調査の母集団やサンプル数の違いもあるため、並列でそのまま評価するのは難しいが、今回の調査ではかなりの割合で満足している方が多い結果となっており、満足度は向上している。</p> <p>定量的指標以外の効果の発現状況について、JR総持寺駅に関しては周辺の歩道整備が進み回遊性が向上したこと、駅の北側への通り抜けも可能となったことが取り上げられている。また、自由通路の壁面を活用したアートプロジェクトが取組まれ、地域の魅力創出が図られている。</p> <p>以上の内容が事後評価書(案)に記載されているが問題ないか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
澤木委員長	<p>今後の方針について、「JR総持寺駅と阪急総持寺駅をつなぐ歩道整備等」とあり、阪急側を意識して記載されているが、JR総持寺駅北側も東芝工場跡地の開発や国道171号の交差点改良等が進めば、まちのにぎわい創出や地域の魅力向上が図られるのではないか。</p>
参河グループ長	<p>ご指摘いただいた東芝工場跡地とJR総持寺駅をつなぎ、エリアを阪急・JR問わず、東芝工場跡地も含め、魅力創出することが今後の課題であると考えており、文言については追加する。</p>
澤木委員長	<p>JR茨木駅について、西口駅前広場周辺の再整備が予定されており、イメージアップや賑わい創出等、大きな方向性が記載されているが、東口や駅舎</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	に比べて西口のアクセスが不便であることも課題と思う。この記載で問題ないか。
木村委員	JR 茨木駅について、西口は東口よりも利用者が多い。足の悪い方や、高齢の利用者もいるため、西口にエスカレーターを整備できないか。
福田副理事	JR 茨木駅西口駅前広場周辺の再整備を検討しており、駅前広場内に JR 西日本の土地があり、JR 西日本が施設の建設も検討されている。今後、JR 西日本と一体となり、エスカレーターの設置について前向きに検討し進めていきたい。
澤木委員長	本日の意見等を踏まえ、事業担当課においては、事後評価シートを作成のうえ公表することでよいか。
各委員	異議なし。
澤木委員長	引き続き、社会資本総合整備計画「阪急茨木市駅及び JR 茨木駅周辺におけるまちづくり」の事後評価について、事業担当課に説明を求める。
竹内職員	【配布資料の確認】 【社会資本総合整備計画「阪急茨木市駅及び JR 茨木駅周辺におけるまちづくり」の事後評価について説明】
延原委員	指標結果について、阪急茨木市駅と JR 茨木駅で指標と補足指標の実績値に逆転現象があるのが気になった。臨時総会に出席されてない方やアンケート調査に回答していない方は、合意なしとして計算したと説明があったが、どのくらいの割合の方が欠席及び回答無しだったか。
福田副理事	JR 茨木駅については、JR 茨木駅前ビルと周辺の地権者がおられ、協議会に参加していない方が 2 名おられた。また、アンケート調査の回答をいただいている方が 4 名おられた。
延原委員	全体の割合としては、それほど大きくない割合と理解してよろしいか。
福田副理事	はい。
澤木委員長	これは、権利者の所有する面積の違いによるもので、阪急茨木市駅は権利

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	割合が大きい権利者が賛同していないので、指標値では目標値を上回れなかったが、権利者数で見ると合意率は高い。JR 茨木駅は逆に、権利割合は 86% だが、権利者数で見ると約 71% になっており、JR 茨木駅は大口の方が賛成し、阪急茨木市駅は大口の方が反対しているということによいか。
参河グループ長	反対しているわけではなく、議決権を行使せずに意思を表明されなかった。
澤木委員長	目標値を阪急茨木市駅 95% と JR 茨木駅 80% にした根拠は何か。
参河グループ長	阪急茨木市駅については、権利割合の大きい権利者の賛同が得られれば 95% に近い数字になるため設定している。JR 茨木駅については再整備を検討していく段階であったため、区分所有法の建替え要件である 5 分の 4 を参考とし、80% に設定している。
中谷委員	阪急茨木市駅は、権利割合の大きい権利者の賛同を得ることができなかったとあるが、今後、問題なくクリアできる見込みなのか。もし、難しいのであれば何が問題となり、問題を解決するためにどのようなプランを持っているか。
参河グループ長	阪急茨木市駅については、権利割合の大きい権利者が風営法の事業に関係した業種であり、再整備に伴う事業存続等の条件整理が当時できていなかったために賛同を得ることができなかったと聞いている。今後、再整備検討にあたり条件整理し協議を進めていく必要がある。
中谷委員	今後の検討で、クリアできそうか。
参河グループ長	そうである。
澤木委員長	定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況について、権利者の生活再建等を含む事業計画のより具体化が必要とあるが、事業者の事業継続や事業継承などの要因が大きい。商業者や事業者が続けられるような配慮を強調した方がよい。 学集会について、学が集まる会になっているが、学を習う会、学習会の間違いではないか。
福田副理事	文言については、追加を検討する。学集会の漢字はあっている。皆さんに

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	集まって議論していただく場ということで、この名前にしている。
澤木委員長	一般のイメージでは無いため、「 」をつけた方がいいかもしれない。
澤木委員長	まちづくり協議会的な組織を立ち上げて、継続的に気運を高めたり、検討することが重要だと思うが、事業が終わった昨年度に気運がしぼんでいないか。事業後も継続していけるような仕組みが必要であり、現状と今後の見通しはどうか。
参河グループ長	阪急茨木市駅については、来年度末に再開発事業の都市計画決定を目指し、事業者との協議を進めており、都市計画素案作成について議論している状況。また、学集会については昨年度と今年度実施しており、今年度で皆さんに議論いただいたまちづくりのイメージを整理する。さらに、エリアマネジメント部会が昨年度から始まり、事業者が事業を行った後も継続的なまちづくりを進めていく。
澤木委員長	JR 茨木駅はどうか。
福田副理事	まちづくり協議会が平成 29 年 12 月に立ち上がり、さらに今年度、事業計画作成パートナーも選定し、再整備に向けて支援いただいている。今後、より具体的な形で意識醸成を図りたい。
澤木委員長	この支援事業で築かれた組織等が継続して機能しているか。
福田副理事	そうである。
澤木委員長	本日の意見等を踏まえ、事業担当課においては、事後評価シートを作成のうえ公表することでよいか。
各委員	異議なし。
澤木委員長	本日の議事は、社会資本総合整備計画の事後評価に関する 2 件について審議を行ったが、概ね適正に進められており、今後の方策等については、事業の実施を踏まえたものとなっていることを当委員会として確認してよろしいか。
各委員	異議なし。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
澤木委員長	それでは、本日の議事は終了とし、進行を事務局へお返しする。
西野課長	令和元年度の建設事業評価委員会における案件の審議は終了した。当委員会の閉会にあたり、井上副市長からあいさつを申し上げる。
井上副市長	【あいさつ】
西野課長	それでは、本日の会議はこれをもって終了とする。長時間にわたりご協力をいただき、お礼を申し上げる。

以上